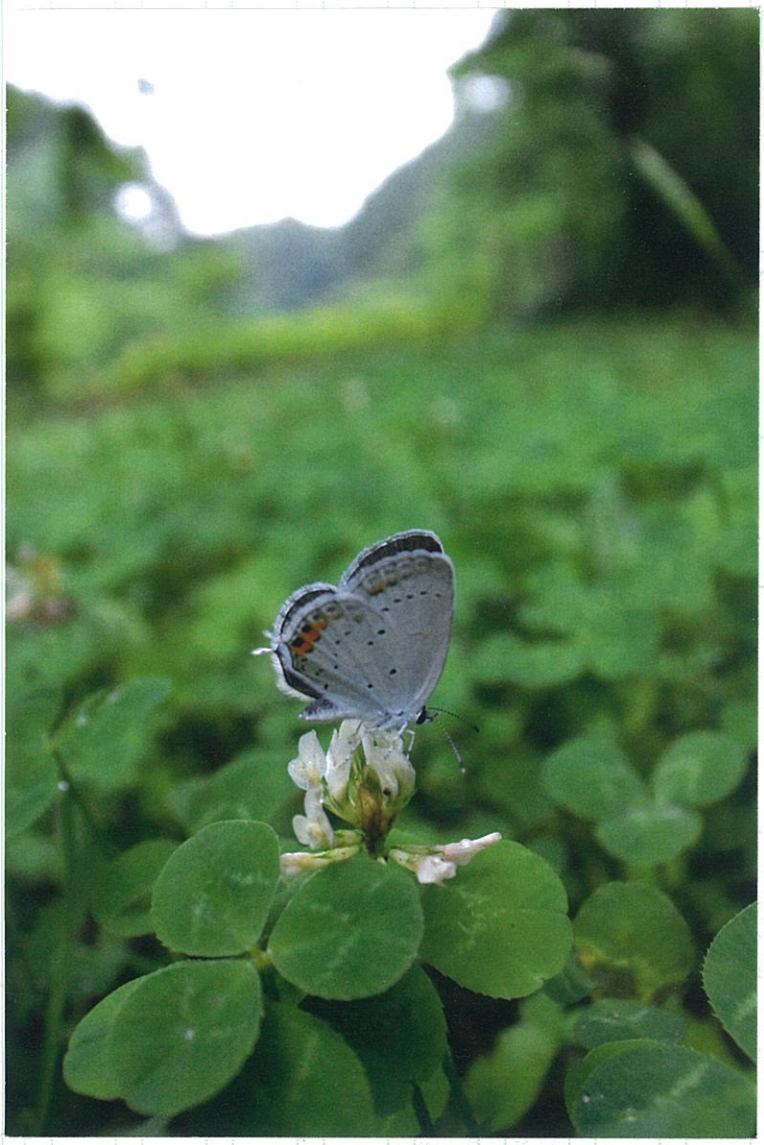
里山新聞

5年生
村田一真

里山の自然を守るために

長池公園は、東京都八王子にある里山が残る公園です。里山とは人が草木を利用したり、田んぼを作ったりと、手を入れることで維持されてきた自然のことです。この里山を歩く中でたくさんの生き物に出会いました。田んぼにはアメンボやヤゴが、落ち葉の下にはミミズ、草むらにはバッタがいました。虫が生きていくために必要な環境はそれぞれ違います。これらの様々な種類の生き物が共生していくためには、人々が積極的に自然に関わっていくことが大切です。僕も自然について学び里山を守る努力をしていきたいと思います。

里山で見つけた宝物



左の写真はツバメシジミです。羽の内側が青くとても美しいチョウです。幼虫はマメ科植物の花やつぼみ、新芽を食べます。シロツメクサなどマメ科の植物が多くはえた土地はツバメシジミが生きていくために必要な環境です。このような美しい生き物がたくさんすめるよう、自然を守っていきたいです。